

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

私たちが取り組む6つの重要テーマ

- 1 安全・安心の追求
- 2 豊かなまちづくり
- 3 未来へつながる暮らしの提案
- 4 一人ひとりの活躍
- 5 環境保全の推進
- 6 ガバナンスの充実

**PICK UP** 重要テーマ③ 未来へつながる暮らしの提案

無線ICタグの技術を活用して、安心・便利な見守りサービスを提供

2011年に開始した『登下校ミマモルメ』は、専用のICタグを持ったお子様が登下校時に校門を通過したことを、保護者の方にスマホアプリやメールで通知する見守りサービスです。校門に設置したセンサーがICタグの信号を自動的に検知するため、ICタグを読み取り機にかざす必要がなく、また小学校に通う6年間は電池交換が不要。そうした利便性も評価され、導入校数は全国で1,700校超に上ります。

本年3月には、「子どもの自宅への出入りを確認したい」という保護者の皆様のご要望にお応えするため、屋内用小型 ICタグ検知端末機を開発するとともに、自宅に同機を設置して、お子様の外出・帰宅をお知らせする『登下校メールおうちプラス』の提供を開始しました。今後もお客様のニーズに新しい技術をマッチさせ、ご利用者に寄り添ったサービスを展開し、安全・安心に貢献してまいります。



小型サイズのICタグをランドセルに入れたまま、校門を通過するだけで検知



担当者の声

共働き世帯が年々増加する中、「ミマモルメから校門通過のお知らせを受けるとほっとする」といった声を数多くいただいており、お客様の安心につながる仕事にやりがいを感じています。今後もより多くの方々に安心をお届けできるよう、ニーズに合ったサービスの拡充を進めていきます。

ミマモルメ  
あんしん事業部  
藤巻 紗彩



HANKYU HANSHIN  
Letter

株主通信  
Vol.44  
2022年11月発行



発行：阪急阪神ホールディングス株式会社

〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目16番1号 <https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>



目次

- 01 トップメッセージ 株主の皆様へ
- 03 第2四半期決算 セグメント別の概況
- 04 通期の業績予想
- 05 阪急阪神DXプロジェクト

- 07 ニュースフラッシュ
- 09 株主優待のご案内
- 10 株主メモ／株主様アンケートのご案内
- 裏表紙 サステナビリティ宣言 PICK UP



代表取締役会長 グループCEO  
角 和夫

代表取締役社長  
杉山 健博

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

### 第2四半期決算の概要

2022年度第2四半期の連結業績につきましては、新型コロナウイルスの影響がまだ残るものの、都市交通事業をはじめ、多くの事業において同影響から一定の回復がみられたことに加え、旅行事業において宿泊療養施設の管理運営業務などの受注が大幅に増加したこと等により、営業収益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、下のグラフのとおり、いずれも前年同期に比べ増加いたしました。

### 通期の連結業績予想

通期の業績予想につきましては、7月以降の新型コロナウイルス感染再拡大の影響により、都市交通事業等が当初の想定を下回ると見込むものの、旅行事業や国際輸送事業等が当初の想定を上回るとみていること等により、営業収益は9,250億円、

営業利益は700億円、経常利益は680億円、親会社株主に帰属する当期純利益は400億円と、それぞれ5月時点の予想を上方修正いたしました。

このように、グループ全体では当初の想定を相応に上回る見通しですので、2022年度の利益水準については、目標(コロナ前の利益水準の2/3程度への回復)を達成できるものとみております。

### 2022年度上半期の取組

当社グループでは、今年の5月に発表した新しい「長期ビジョン-2040年に向けて-」や中期経営計画(2022~2025年度)に則って、この上半期はさまざまな施策を推し進めてまいりました。

とりわけ鉄道事業では、中期経営計画の重点施策である収支構造の強靱化への取組に注力し、今後の旅客需要を踏まえ、運行ダイヤの見直しを今冬に実施することとしたほか、阪急電鉄・阪神電気鉄道においては、来年4月から「鉄道駅バリアフリー料金制度」を導入して、ホーム柵(可動式または固定式)の全駅設置をはじめ、バリアフリー設備の整備をより加速し

ていくこととしました。

また、不動産事業では、インドネシアのジャカルタ都市圏において代表的な大規模商業施設を新たに取得するなど、海外における不動産事業を積極的に展開し、長期ビジョンの戦略の一つである「沿線事業モデルの展開エリアの拡大」に注力しました。

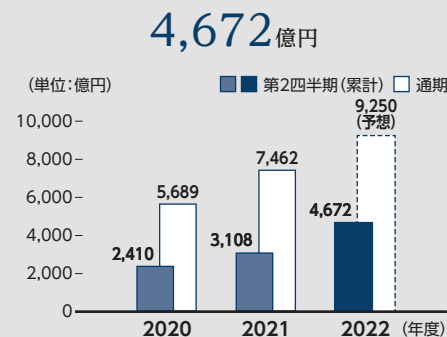
### 利益の還元について

株主の皆様への利益還元につきましては、安定的な配当を維持することとしており、年間配当金は、2021年度と同様に、1株当たり50円を予定しております。そして、この方針に基づき、このたび1株当たり25円の間配当を実施いたしました。

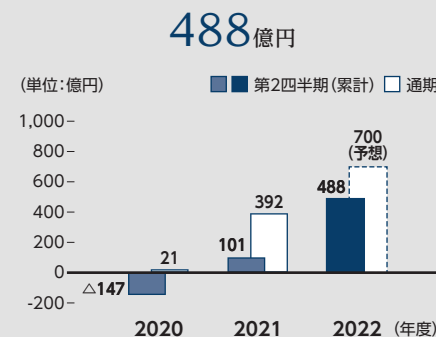
当社グループでは、これからもグループを挙げて持続的な企業価値の向上を図ってまいりますので、今後とも株主の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 2022年度 第2四半期決算 連結業績ハイライト

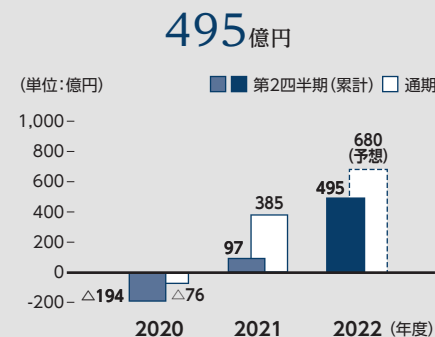
### 営業収益



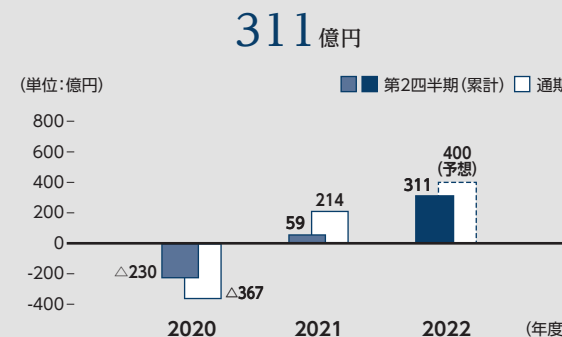
### 営業利益



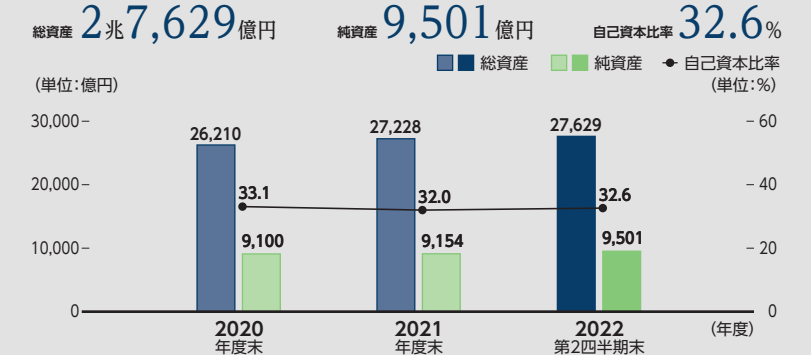
### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



### 総資産・純資産・自己資本比率



セグメント別の概況

(単位:億円)

**都市交通**

	2022年度 第2四半期累計	前年同期比
営業収益	906	+141
営業利益	119	+122

当期も新型コロナウイルスの影響がまだ残るものの、緊急事態宣言等の発令に伴う外出自粛等の影響を受けた前年同期比では、鉄道事業・自動車事業とも旅客数に一定の回復がみられたこと等により、増収・増益

**不動産**

	2022年度 第2四半期累計	前年同期比
営業収益	1,289	+308
営業利益	116	+46

ホテル事業において新型コロナウイルスの影響がまだ残るものの、緊急事態宣言の発令に伴い一部のホテルが一時休館していた前年同期比では、宿泊部門・料飲部門の利用者数に一定の回復がみられたこと、また分譲事業においてマンション分譲戸数が前年同期を上回ったこと等により、増収・増益

**エンタテインメント**

	2022年度 第2四半期累計	前年同期比
営業収益	432	+88
営業利益	139	+58

ステージ事業において宝塚歌劇の一部公演を中止するなど、新型コロナウイルスの影響がまだ残るものの、スポーツ事業において阪神タイガース公式戦主催試合の入場人員がイベントの開催制限措置の影響等を受けた前年同期比では増加したこと等により、増収・増益

**情報・通信**

	2022年度 第2四半期累計	前年同期比
営業収益	265	△8
営業利益	16	△4

情報サービス事業と放送・通信事業において前年同期に大型案件の受注があったこと等により、減収・減益

**旅行**

	2022年度 第2四半期累計	前年同期比
営業収益	860	+778
営業利益	82	+165

海外旅行をはじめ新型コロナウイルスの影響がまだ残るものの、宿泊療養施設の管理運営業務など旅行以外の事業において受注が大幅に増加したほか、国内旅行において「県民割支援」を活用したツアーの販売が相応に推移したこと等により、増収・増益

**国際輸送**

	2022年度 第2四半期累計	前年同期比
営業収益	872	+268
営業利益	36	+3

需給の逼迫が、日本では徐々に緩和してきているものの、海外においては継続したこと等により、前年同期比では増収・増益

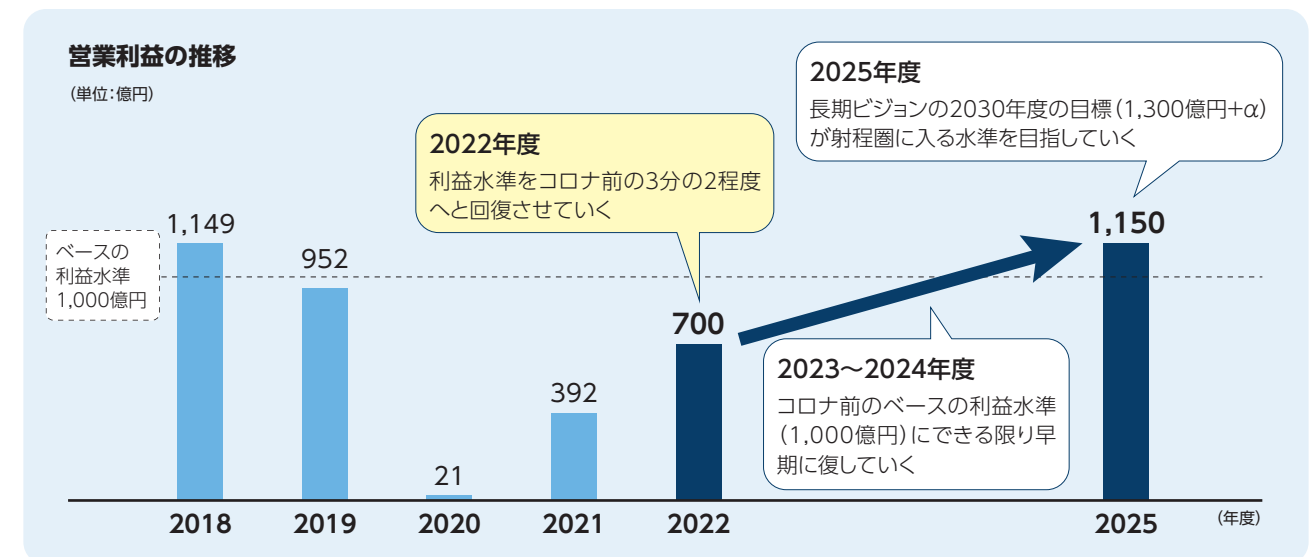


2022年度 通期業績予想

当社グループでは、今般、5月に発表した2022年度の通期業績予想を下表のとおり上方修正しました。  
 7月以降の新型コロナウイルス感染再拡大の影響により、都市交通事業等が5月予想を下回ると見込むものの、旅行事業や国際輸送事業等が5月予想を上回ると想定していること等により、営業収益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも5月予想から増加するものとみております。

	2022年度 5月発表予想	2022年度 10月発表予想 (今回予想)	5月発表予想 との比較	2021年度実績 (ご参考)
営業収益	9,150億円	9,250億円	(+100億円)	7,462億円
営業利益	630億円	700億円	(+70億円)	392億円
経常利益	620億円	680億円	(+60億円)	385億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	350億円	400億円	(+50億円)	214億円

当社グループの中期経営計画(2022~2025年度)では、下のグラフのとおり、2022年度は「利益水準をコロナ前の3分の2程度へと回復させていく」ことを目指していますが、上記のとおり、2022年度の利益(予想)はこの目標の達成に向けて順調に進捗しています。



当社グループでは、本年5月に発表した「長期ビジョンー2040年に向けてー」を推し進めていく中で、グループを挙げて「阪急阪神DXプロジェクト」に取り組んでいくこととしています。

## 阪急阪神DXプロジェクトが目指すもの

- ・お客様一人ひとりに寄り添いながら、ライフスタイルのデジタルトランスフォーメーションを推進し、お客様にさらに「安心・快適」な生活をお届けする
- ・当社グループが有する多様なコンテンツを活用するとともに、デジタルとリアルをうまく組み合わせながら、「夢・感動」の提供を拡大していく

## 4つの取組方針

### 1. お客様を「知る」取組

各事業が有する既存の顧客情報に横串を刺す形でグループ共通ID「HH cross ID」を導入し、その供用を2021年8月に開始しました。今後は、さらにHH cross会員の拡大を図り、本IDを通じて得たデータを蓄積・分析していきます。

#### グループ共通ID「HH cross ID」

HH cross会員には、一つのアカウント(ID)で当社グループのさまざまなサービスをシームレスにご利用いただくことができ、本年10月時点の会員数は約28万人です。

また、このHH cross IDを通じてグループ横断的に顧客データを統合し、当該データの蓄積・分析を行うこととしており、それによりOne to Oneマーケティングや各事業間の相互送客を実現し、ロイヤルカスタマーの拡大を図るほか、新たな商品・サービスの開発等に活用することを企図しています。

#### データ分析ラボ

2021年4月に、東京大学との産学連携により「データ分析ラボ」を設立しました。同ラボでは、統計解析や最新の機械学習等のさまざまな手法を駆使して、延べ1,200万人に上るグループの顧客データを活用すべく、今後も分析を進めていきます。



### 2. お客様に「伝える」取組

スマートフォンアプリ等のデジタルツールを活用することにより情報発信力を向上させ、お客様とのつながりを強化することで、より満足度の高いサービスを提供できるようにしていきます。

#### スマートフォンアプリ「HH cross TOWNS」

おでかけを快適にする機能を搭載したスマートフォン向けアプリで、本年5月に配信を開始しました。まずは、大阪・梅田エリアからサービスの提供を開始しており、今後、他のエリアへのサービス拡大や、おでかけを便利にするコンテンツの拡充を進めていきます。



### 3. お客様が「デジタル時代の利便性」を最大限享受できる取組

無料Wi-Fiサービスやメタバース、動画配信プラットフォームなどのデジタルインフラを整備することで、より利便性の高い新たなサービスを提供していきます。

#### 無料Wi-Fiサービス「HH cross Wi-Fi」

当社グループの駅や一部の鉄道車両・商業施設・ホテルなどで使える、HH cross会員向けの無料Wi-Fiサービスです。専用アプリをダウンロードすることでご利用いただくことができ、今後ご利用可能施設を順次拡大していきます。



#### JM 梅田ミュージックフェス2022 SUMMER

本年7～8月に、大阪・梅田の街をメタバース(インターネット上の仮想空間)に忠実に再現した「JM 梅田(Japan Multiverse梅田)」において、バーチャルイベント「JM 梅田ミュージックフェス2022 SUMMER」を開催しました。本イベントで得られたノウハウ等を活かし、これからも、メタバースにおける新たなサービスの提供に挑戦していきます。



### 4. 当社グループの強みであるコンテンツを磨き上げる取組

蓄積・分析したデータを活用して、コンテンツをさらに磨き上げるとともに、新たな魅力ある商品の開発やサービスの改善につなげていきます。

デジタル技術を活用しながら、当社グループが保有する既存のコンテンツを集約・蓄積(アーカイブ化)していくとともに、沿線をはじめとする事業フィールドにおいてコンテンツを新たに発掘したり、外部パートナーと連携を図りながら新たなコンテンツを開拓したりすること等により、さらに魅力度の向上を図っていきます。

## 鉄道におけるバリアフリー化の推進

当社グループでは、これまで駅や電車を安全・安心・快適にご利用いただけるよう、可動式ホーム柵やエレベーターの整備など、さまざまなバリアフリー化施策に取り組んできました。

今後は、2021年12月に国により創設された「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用しながら、各種バリアフリー設備の整備をさらに加速していくこととします。中でも、近時はホーム上の安全性向上への社会的ニーズが高まっていることから、阪急電鉄・阪神電気鉄道では、全駅にホーム柵（可動式または固定式）を設置するよう進めてまいります。

### 鉄道駅バリアフリー料金制度

鉄道駅のバリアフリー化の促進のために、受益する全ての利用者に薄く広く負担をいただく制度です。阪急電鉄・阪神電気鉄道では、この制度に基づき、2023年4月1日より、阪急線・阪神線の全線（いずれも神戸高速線を除く）で所定の運賃に一定の料金を加算する（例えば、普通旅客運賃[大人]に10円を加算する）こととしており、この加算料金はバリアフリー設備の整備費などに充当することといたします。



可動式ホーム柵（阪急十三駅）



可動式ホーム柵（阪神神戸三宮駅）



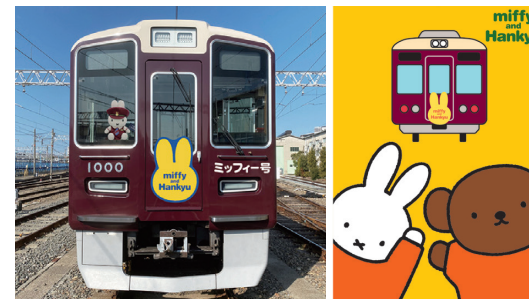
バリアフリースイートイレ（阪急淡路駅）

### 今後の主なバリアフリー設備の整備

- 阪急線・阪神線の全駅にホーム柵（可動式または固定式）を設置  
（阪急線は2040年度末頃までに、阪神線は2042年度頃を目途に、それぞれ設置）
- 既に設置済のエレベーター・エスカレーターやバリアフリースイートイレ等を適時適切に更新・維持管理

## 装飾列車（ラッピングトレイン）の運行

### 阪急 装飾列車「ミッフィー号」



ミッフィーとなかまたちが阪急沿線をめぐる様子を車体に装飾するほか、特製ヘッドマークやオリジナルデザインのポスター等を掲出しています。また、マルーンカラーの制服を着たミッフィーのぬいぐるみが列車の乗務員室に添乗しています。

運行期間：2022年8月3日～2023年3月30日

### 阪神 阪神甲子園球場100周年記念ラッピングトレイン



車体は、名作野球マンガのキャラクターや、阪神甲子園球場の歴史をたどる数々の写真でラッピングされています。また、車内もマンガコラボ企画のポスターで装飾しており、1編成だけの特別仕様をお楽しみいただけます。

運行期間：2022年8月1日～2024年12月頃

### 「阪急電車のデザイン」がグッドデザイン・ロングライフデザイン賞を受賞しました

このたび、他薦により、「阪急電車のデザイン」がグッドデザイン・ロングライフデザイン賞を受賞しました。この賞は、「暮らしの中で人々に愛され、これからも変わらずに存在し続けてほしいデザイン」の顕彰を目的としており、開業当時から継承されているマルーンカラーの車体などをご評価いただきました。



（2014年撮影）

## 株主優待のご案内

3月末、9月末時点で100株以上ご所有の株主の皆様に、以下のとおり、株主優待回数乗車証(阪急・阪神共通回数カード)や株主優待乗車証(全線パス)、グループ各社でご利用いただけるグループ優待券(1冊)をお送りしております。

### 株主優待回数乗車証および株主優待乗車証

(2022年11月現在)

優待基準株数	株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)	株主優待乗車証 (全線パス)
100～199	2回カード×1枚 (2回乗車分)	—
200～479	4回カード×1枚 (4回乗車分)	—
480～999	4回カード×3枚 (12回乗車分)	—
1,000～1,999	25回カード×1枚 (25回乗車分)	—
2,000～6,199	30回カード×2枚 (60回乗車分)	—
6,200～9,799 ※①②のいずれかを選択	① 30回カード×2枚 (60回乗車分)	—
	② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線パス1枚
9,800～15,999 ※①②のいずれかを選択	① 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス1枚
	② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線パス1枚
16,000～199,999	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス1枚 + 阪神電車全線パス1枚
20万以上	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス10枚 + 阪神電車全線パス10枚

#### 株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)



共通回数カードの適用区間：阪急電車線及び阪神電車線全線  
(いずれも神戸高速線を除く)

#### 株主優待乗車証 (全線パス)



- ・阪急電車全線パスの適用区間：阪急電車線全線(神戸高速線を除く)
- ・阪神電車全線パスの適用区間：阪神電車線全線(神戸高速線を除く)

詳しいご利用方法等につきましては、株主優待とともにお送りしているご利用案内をご覧ください。

### グループ優待券



グループ優待券のご利用範囲については券面をご参照下さい。なお、ご優待内容や対象施設については、予告なく変更する場合がございますので、ご了承下さい。

#### 主な内容

##### 施設入場券



自然体感展望台 六甲枝垂れ

※2022年12月以降、阪急交通社の旅行割引は株主優待の対象外とさせていただきます。

##### ホテル宿泊・飲食割引券



ホテル阪急レスパイヤ大阪

##### 入館引換券



甲子園歴史館

### 送付時期・有効期限

株主優待については、9月30日、3月31日の株主名簿に基づき、それぞれ11月下旬、5月下旬に発送します。有効期間については、「阪急・阪神共通回数カード」は1年間、その他の優待は半年間です(施設により異なる場合もあります)。

## 株主メモ

### 決算期

3月31日

### 定時株主総会

6月

### 基準日

定時株主総会権利行使株主確定日/3月31日

期末配当金受領株主確定日/3月31日

中間配当金受領株主確定日/9月30日

### 単元株式数

100株

### 株式のお手続きに関するお問い合わせ先

手続きの内容	株式口座の開設先	証券会社	特別口座(※1)
マイナンバーのお届出(※2)		口座開設先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関) 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
住所変更、単元未満株式買取請求・買増請求などの各種お手続き			
特別口座から証券会社の口座への振替請求		—	

※1 2009年1月5日の株券電子化時に、株券をお手元に保管されていた株主様の株式(登録株を含む)につきましては、特別口座で管理されています。特別口座で管理されている株式につきましては、一般口座にお振替いただくことができます。三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までお問い合わせ下さい。

※2 2015年10月以降、市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となるため、株主様から、株式口座開設先の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要があります。マイナンバーのお届出の詳細につきましては、株式口座開設先の証券会社などまでお問い合わせ下さい。

## 株主様ウェブアンケートへのご協力のお願い

アンケート実施期間 2022年12月25日まで

アンケートにご協力いただいた株主様の中から抽選で5名様に  
阪急阪神第一ホテルグループの共通ご利用券(1万円分)をプレゼントいたします。

回答  
方法

下記ウェブページまたは右記二次元バーコードからアンケート画面にアクセスして下さい

<https://q.srdb.jp/9042/>



株主通信に関するアンケートです。アンケートの回答に際してご入力いただいた情報は、今後の制作に向けて参考にさせていただくほか、賞品の発送に必要な範囲でのみ利用いたします。当社グループの個人情報の取扱いに関する基本方針は、当社ホームページ(<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/privacy/>)をご確認下さい。  
※抽選結果の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

